

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】 第 3 部門第 2 区分

【発行日】 平成 18 年 1 月 5 日 (2006.1.5)

【公表番号】 特表 2005-519048 (P2005-519048A)

【公表日】 平成 17 年 6 月 30 日 (2005.6.30)

【年通号数】 公開・登録公報 2005-025

【出願番号】 特願 2003-556056 (P2003-556056)

【国際特許分類】

C 0 7 C 311/18 (2006.01)

A 6 1 K 31/18 (2006.01)

A 6 1 K 31/40 (2006.01)

A 6 1 K 31/4025 (2006.01)

A 6 1 K 31/403 (2006.01)

A 6 1 K 31/4035 (2006.01)

A 6 1 K 31/4188 (2006.01)

A 6 1 K 31/4245 (2006.01)

A 6 1 K 31/433 (2006.01)

A 6 1 K 31/435 (2006.01)

A 6 1 K 31/445 (2006.01)

A 6 1 K 31/4453 (2006.01)

A 6 1 K 31/4709 (2006.01)

A 6 1 K 31/4725 (2006.01)

A 6 1 P 25/18 (2006.01)

A 6 1 P 25/28 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

C 0 7 D 207/09 (2006.01)

C 0 7 D 209/44 (2006.01)

C 0 7 D 211/14 (2006.01)

C 0 7 D 215/06 (2006.01)

C 0 7 D 217/04 (2006.01)

C 0 7 D 295/00 (2006.01)

C 0 7 D 295/08 (2006.01)

C 0 7 D 401/12 (2006.01)

C 0 7 D 405/12 (2006.01)

C 0 7 D 409/12 (2006.01)

C 0 7 D 413/12 (2006.01)

C 0 7 D 417/12 (2006.01)

C 0 7 D 513/04 (2006.01)

【F I】

C 0 7 C 311/18

A 6 1 K 31/18

A 6 1 K 31/40

A 6 1 K 31/4025

A 6 1 K 31/403

A 6 1 K 31/4035

A 6 1 K 31/4188

A 6 1 K 31/4245

A 6 1 K 31/433

A 6 1 K 31/435

A 6 1 K 31/445
 A 6 1 K 31/4453
 A 6 1 K 31/4709
 A 6 1 K 31/4725
 A 6 1 P 25/18
 A 6 1 P 25/28
 A 6 1 P 43/00 1 1 1
 C 0 7 D 207/09
 C 0 7 D 209/44
 C 0 7 D 211/14
 C 0 7 D 215/06
 C 0 7 D 217/04
 C 0 7 D 295/00 Z
 C 0 7 D 295/08 C S P Z
 C 0 7 D 401/12
 C 0 7 D 405/12
 C 0 7 D 409/12
 C 0 7 D 413/12
 C 0 7 D 417/12
 C 0 7 D 513/04 3 3 1
 C 0 7 M 7:00

【手続補正書】

【提出日】平成17年10月25日(2005.10.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項2

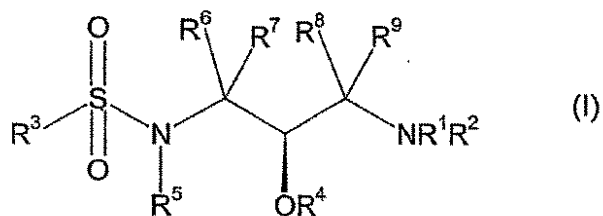
【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項2】

化合物が下記の立体化学配置：

【化3】

を有する請求項1記載の使用。

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項3】

(a) R^1 および R^2 は、それらが結合している窒素原子と一緒にあって、置換されていてもよい5-または6-員環を形成し、ここに、1以上の炭素原子はN、OおよびSから独立して選択されるヘテロ原子で置き換わっていてもよく、該環はさらに、 C_5-C_7 脂環式または5-もしくは6-員の芳香族もしくは複素環式芳香族環に縮合していてもよ

く；または

(b) R^1 および R^2 は、それらが結合している窒素原子と一緒にあって、5-または6-員の複素環式環を形成し、ここに、唯一のヘテロ原子は R^1 および R^2 が結合している窒素原子であり、該環は、 $C_1 - C_6$ アルキルおよび $C_3 - C_6$ シクロアルキルから独立して選択される1以上の基によって、より好ましくは $C_1 - C_4$ アルキルから独立して選択される1以上の基によって、もっとも好ましくはメチル、エチルまたはイソプロピルによって置換されていてもよく；または

(c) R^1 および R^2 は、 $C_1 - C_6$ アルキル、好ましくは $C_3 - C_6$ アルキルから独立して選択される

請求項1または2に記載の使用。

【手続補正3】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項4】

n が0である請求項1-3のいずれか1項記載の使用。

【手続補正4】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項5】

Z が5-または6-員の単環系であるか、または Z が6-ないし10-員の二環系である請求項1-4のいずれか1項記載の使用。

【手続補正5】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項6】

Z が-hal、 $C_1 - C_6$ アルキル、 $C_1 - C_6$ アルコキシ、 CF_3 、CNおよび $C_3 - C_6$ シクロアルキルから独立して選択される1以上の基によって置換されていてもよいフェニル、チエニル、ナフチル、ナフチリジニル、キノリル、イソキノリル、ベンゾチエニル、クロマニル、クロメニル、イミダゾールイソチアゾリル、ベンゾチアジアゾリルまたはベンゾフリルである請求項5記載の使用。

【手続補正6】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項7】

R^4 が水素または $C_1 - C_6$ アルキルである請求項1-6のいずれか1項記載の使用。

【手続補正7】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項8】

R^5 が水素、 $C_1 - C_6$ アルキル、アリールおよびベンジルから選択され、これらの基

は hal 、 $\text{C}_1 - \text{C}_6$ アルキルおよび $\text{OR}^{2,4}$ から独立して選択される 1 以上の基によって置換されていてもよい請求項 1 - 7 のいずれか 1 項記載の 使用。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 9】

R^6 、 R^7 、 R^8 および R^9 が水素および $\text{C}_1 - \text{C}_6$ アルキルから独立して選択される請求項 1 - 8 のいずれか 1 項記載の 使用。